

## 月刊誌『統計』連載「授業に使える SSDSE の統計教材（中学・高校編）」

著者：山下 雅代 執筆当時：総務省統計研究研修所 特任講師

(2025年3月現在：東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 准教授)

掲載号：2019年4月号～12月号（毎月）、2020年2月、4月、6月号（全12回）

概要：

この連載は、平成29年から30年にかけて改訂された文部科学省の学習指導要領の中で数学科に関する内容に即して、中学校・高等学校を対象とする実践的な統計教育の教材を示し、その教授方法を解説したものです。中学校・高等学校の数学科、情報科の指導に活用することができます。

近年、大学教育ではデータサイエンス教育が文理を問わず必須とされつつある中、初等中等教育においてもデータに基づいて判断する統計的な問題解決能力の修得を目指すことと必要とされています。そのような中、この連載では独立行政法人統計センターが開発し公開している教育用標準データセット（Standardized Statistical Data Set for Education (SSDSE)）を教材として活用し、実践的な指導方法を解説しています。SSDSEは全国の都道府県・市区町村について社会・人口・経済など様々な側面を表す統計データを体系的に収録したものであり、中学生・高校生が自分たちの地域の身近な問題についてデータを通じて課題を探索し、問題解決に取り組む上で適したものとなっています。

この連載は、中学生・高校生において統計的な問題解決能力の涵養を目指す実践的な指導を進める上で役立ちます。

各回のテーマは次のとおりです。

回	年月	テーマ
<b>前半</b>		
(1)	2019. 4	新学習指導要領が目指す統計教育とその教材
(2)	2019. 5	主体的・対話的な学びを実現する箱ひげ図の教材 (1/2)
(3)	2019. 6	主体的・対話的な学びを実現する箱ひげ図の教材 (2/2)
(4)	2019. 7	外れ値に着目しよう—分布の可視化と問題発見— (1/2)
(5)	2019. 8	外れ値に着目しよう—分布の可視化と問題発見— (2/2)
(6)	2019. 9	2変数間の関係性を観察しよう—相関分析の二つの落とし穴— (1/2)
(7)	2019. 10	2変数間の関係性を観察しよう—相関分析の二つの落とし穴— (2/2)
<b>後半</b>		
(8)	2019. 11	必要な汗はかこう—インターネットを用いた情報収集と地域特性の分類— (1/2)
(9)	2019. 12	必要な汗はかこう—インターネットを用いた情報収集と地域特性の分類— (2/2)
(10)	2020. 2	2019年度版 SSDSE の公開と統計地図作成 (1/2)
(11)	2020. 4	2019年度版 SSDSE の公開と統計地図作成 (2/2)
(12)	2020. 6	教材の振り返りと実社会の問題解決の方法